

## 焼酎メーカー売上高ランキング (2023 年)

上位 50 社の売上高合計は 7 年ぶりに対前年を上回る  
～ 霧島酒造が 12 年連続でトップ ～

## はじめに

国税庁が発表した 2022 年度の国内酒類販売（消費）数量は、約 782 万 800 キロリットルで、前年度比 1.4%増加し、7 年ぶりに前年を上回った。昨年 5 月に新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の感染症法上の位置づけが「5 類」に移行したことで外食産業向けの販売回復したことが要因のひとつとなっている。酒離れや消費者嗜好の多様化等により依然として酒類業界全体が厳しい状況に立たされている。そんななか、スピリッツ（前年度比 3.4%増）は、缶チューハイや缶カクテル、梅酒缶などの RTD（Ready To Drink）飲料市場の拡大もあって、それぞれ消費量や伸び率は増加傾向にある。

焼酎消費量は前年度比 0.8%増の約 70 万 1000 キロリットルとなった。2 年ぶりに 70 万キロリットル台を回復したものの、焼酎市場が年々減少傾向で推移しているなか、インバウンド需要や外食産業需要の回復の波にどれだけ乗れるかが今後の重要なポイントとなろう。

帝国データバンク福岡支店では、売上高に占める焼酎・泡盛の割合が 5 割以上となった酒類製造業者（焼酎・泡盛以外の事業で計上した売上高も含む）を『焼酎メーカー』と定義。企業概要ファイル「COSMOS2」（約 147 万社収録）より、全国の焼酎メーカーの 2023 年（1 月期～12 月期）売上高をランキング形式により抽出し、上位 50 社の売上高や利益動向などについて集計した。なお、本調査は 2023 年 8 月に続く 21 回目。

## 調査結果（要旨）

- 2023 年の売上高ランキングは、「黒霧島」で知られる霧島酒造（株）（宮崎県都城市）が 12 年連続でトップ。2 位は、「いいちこ」ブランドを主力とする三和酒類（株）（大分県宇佐市）。3 位には「大分むぎ焼酎二階堂」などを展開する二階堂酒造（株）（大分県速見郡）がランクインした。
- 上位 50 社の売上高合計は 2263 億 2800 万円と、前年比 1.6%増加した。7 年ぶりの上昇。
- 上位 50 社のうち「増収」企業は 31 社となった。「売上高規模別」全てのレンジで「増収」が「減収」を上回った。
- 税引き後当期純利益が判明した 40 社のうち、「黒字」企業は 32 社
- 都道府県別にみると、社数は「鹿児島県」が 24 社、売上高合計は「宮崎県」が 806 億 4000 万円で、それぞれトップとなった

## 1. 売上高ランキング

### 1位 霧島酒造 593億8300万円 (前年比1.6%増)

全国焼酎メーカーの2023年(1月期~12月期)の売上高ランキングは、12年連続<sup>※1</sup>で霧島酒造(株)(宮崎県都城市)がトップとなった。「黒霧島」を主体に、「白霧島」「赤霧島」などを展開。地元南九州産の原材料にこだわり、“品質の良いものをより多くの消費者に手頃な価格で提供する”ことをコンセプトにしている。期中は総じて原材料確保に苦慮したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が緩和されたなか、外食産業などの業務用向け販売が増勢となったほか、県外向け商品の一部商品出荷停止に伴う駆け込み需要や、値上げ効果による販売単価の上昇などもあり、売上高は前年比1.6%増となった。

### 2位 三和酒類 260億3500万円 (前年比4.0%増<sup>※2</sup>)

三和酒類(株)(大分県宇佐市)は、12年連続で2位をキープした。“下町のナポレオン”の愛称で知られる「いいちこ」シリーズを主体に、地元大分県産の麦を使用した「西の星」ブランドを展開し、関東・関西・中部などの大都市圏をはじめ、北米やアジアなど世界各国・地域に販路を構築している。新製品の投入はなかったものの、「いいちこパック」等の紙パック商品や缶入りとなる「いいちこ下町のハイボール」の売れ行きが堅調に推移した。また、テレビCM等による販促を引き続き進めたことや、販売単価引き上げ等の効果もあり、売上高は前年比3.8%増となった。

### 3位 二階堂酒造 151億円 (前年比11.9%増)

昨年の雲海酒造(株)(宮崎市)に代わって二階堂酒造(有)(大分県日出町)が、3位にラインインした。創業は慶応2年と云われ、当地古参の焼酎メーカーとして高い知名度を有している。また、本社に隣接して「二階堂美術館」を開設。地元への貢献を図るとともに、地域密着の経営姿勢を貫いている。100%麦を使用したオリジナルブランド商品「大分むぎ焼酎二階堂」、「吉四六」、「豊後路」、「やつがい」、「焼酎倶楽部」などのブランドを揃えている。インバウンド解禁による外食産業などの業務向け販売の拡大や、原材料などの仕入れ単価上昇分の価格転嫁なども功を奏し、売上高は前年比10.6%増となった。

<sup>※1</sup> 2015年4月に旧・霧島酒造(株)は霧島ホールディングス(株)に商号を変更したうえで持ち株会社となり、新たに設立した霧島酒造(株)(2014年3月設立)が酒類製造部門を継承した。順位は旧・霧島酒造(株)からの通算。

<sup>※2</sup> 2022年7月期から収益認識に関する会計基準を適用している。

## 2. 売上高合計推移

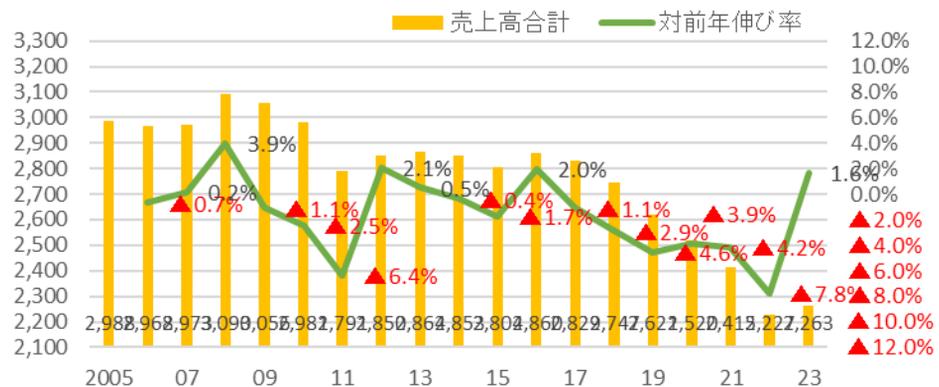
オエノングループ(東京都墨田区)は2008年(2009年発表分)から2016年(2017年発表分)まで焼酎事業の売上高が50%を下回り集計対象外となっていたが、2017年(2018年発表分)から再び

50%を上回った。そこで、単純比較を行うために、2005年までさかのぼって同グループの売上高を除外し、かつ、51位企業の売上高を含めて再集計したものが上記グラフとなる。2022年集計分からオエノングループが再び集計対象外となったため、今回調査(2023年)も上記グラフをそのまま利用した。

ピーク時の2008年(3090億1300万円)から26.8%減少となった。消費者嗜好の変化によりウイスキーやワイン、リキュール類との競合が激化するなか、新しいニーズの獲得に動いている企業も多いものの、若者をはじめとする酒離れなどで苦戦が続いている。一方、2023年の上位50社の売上高合計は、前年比1.6%増の2,263億2800万円と、7年ぶりに増加した。

前年(2022年)では緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用で外出自粛を余儀なくされた飲食店需要の回復は鈍化するなど引き続き新型コロナの影響を受けていた。しかし、2023年に入ると、5月には新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類」相当から「5類」へと変更になり、脱コロナの動きが加速した。インバウンドや外食向け需要が高まったほか、原材料などの高騰を背景とした販売単価が概ね上昇。上位10社中8社で増収となり、増収企業が減収企業を大きく上回った。

### 上位50社の売上高合計の推移



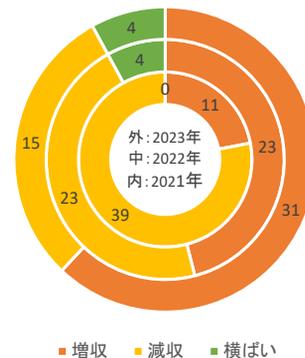
年	売上高合計 (上位50社)	対前年伸び率
2005	2988	
2006	2968	▲0.7%
2007	2973	0.2%
2008	3090	3.9%
2009	3056	▲1.1%
2010	2981	▲2.5%
2011	2791	▲6.4%
2012	2850	2.1%
2013	2864	0.5%
2014	2853	▲0.4%
2015	2804	▲1.7%
2016	2860	2.0%
2017	2829	▲1.1%
2018	2747	▲2.9%
2019	2621	▲4.6%
2020	2520	▲3.9%
2021	2415	▲4.2%
2022	2227	▲7.8%
2023	2263	1.6%

### 3. 売上げ動向

売上げ動向をみると、「増収」企業が31社（前年23社）となった。前年と比べて8社の増加。他方、「減収」が15社（同23社）、「横ばい」が4社（同4社）となった。

売上高規模別でみると、全てのカテゴリで「増収」が「減収」を上回った。前年は規模の大きい企業から”巣ごもり需要”を取り込み、売り上げを確保していたものの、今回調査では、遍く企業で売上げ増につながっており、イベントの再開やインバウンド効果で外食産業需要の回復基調の追い風を受けたことや値上げを行ったことで、増収に転じたと予想される。

上位50社の売上げ動向

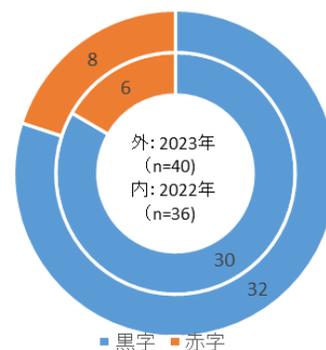


上位50社の売上高規模別の損益動向			
売上高規模	増収	減収	横ばい
10億円未満	8	3	2
10～20億円	9	6	2
20～50億円	6	4	0
50～100億円	4	1	0
100億円以上	4	1	0

### 4. 利益の動向

税引き後当期純利益が判明した40社のうち、「黒字」企業は32社で、構成比は80.0%（前年30社、構成比83.3%）となった。一方、「赤字」企業は8社で構成比20.0%（同6社、16.7%）と、前年比3.3ポイント増となった。増収企業は前年から大幅に増加したものの、原油や原材料価格の高騰分を価格転嫁でカバーできていないことで「赤字」となった可能性が考えられる。

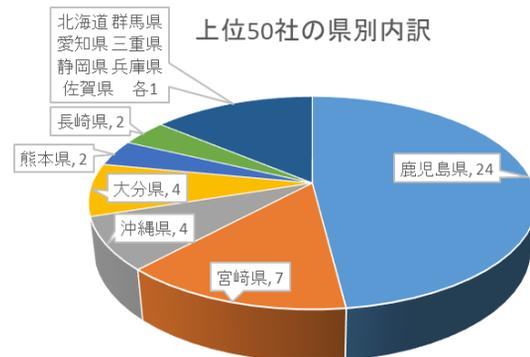
上位50社の利益動向



### 5. 都道府県別の分布

売上高上位 50 社を本社所在地別にみると、「鹿児島県」が前年と同数となる 24 社でトップ。以下、「宮崎県」が前年から 2 社増の 7 社、「大分県」と「沖縄県」が各 4 社と上位の顔ぶれに変更はなかった。

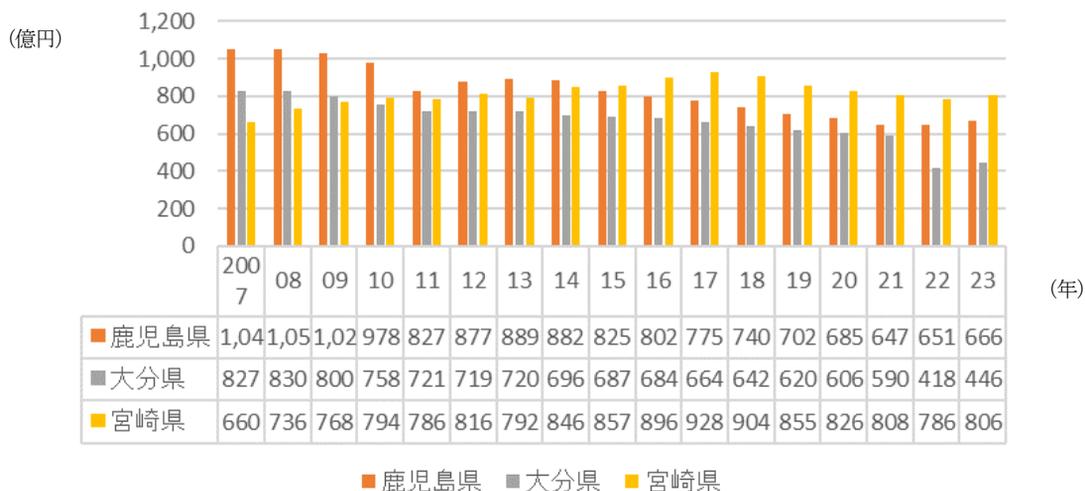
他方、都道府県別の売上高合計は、「宮崎県」が前年比 2.5% 増となる 806 億 4000 万円で 9 年連続トップとなった。上位 50 社に新たに 2 社がランクインしたことが要因。2 位の「鹿児島県」社数は前年と変わらなかったものの、増収企業が 17 社となったことから前年比 2.4% 増となる 666 億 1800 万円となった。「大分県」も社数は前年と変わらなかったものの、ランクインした企業がすべて増収となったことから前年比 6.7% 増となる 446 億 1900 万円となった。



各県の前年との件数比較

県名	2022年	2023年	増減
鹿児島	24	24	0
宮崎	5	7	2
大分	4	4	0
沖縄	4	4	0
熊本	2	2	0
長崎	2	2	0
北海道	1	1	0
山形	1		-1
群馬	1	1	0
静岡	1	1	0
愛知	1	1	0
三重	1	1	0
兵庫	1	1	0
福岡	1		-1
佐賀	1	1	0
合計	50	50	

### 鹿児島・大分・宮崎県の売上高合計推移



## まとめ

酒類業界全体では、人口減少や少子高齢化のほか、健康志向の高まりによる飲酒の敬遠や量の減少、若者の酒離れといった問題も抱えている。焼酎業界では、ウイスキーを炭酸水（ソーダ）で割ったハイボール、缶カクテルなどのRTD・低アルコール飲料の需要拡大が進むなど、選択肢が増えたことで、苦戦している。

今回の調査では、7年ぶりに上位50社の売上高合計が前年を上回り、企業別では霧島酒造(株)が12年連続で首位を守っている。

また、前年(2022年)調査では、2年連続で上位3社が全て減収となったものの、今回(2023年)は3社全て増収となった。上位50社においては31社の企業で増収となり、前年(23社)を大きく上回った。2023年は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、居酒屋やレストランといった飲食店向け需要が回復基調にあったことや、各社とも原材料費の高騰などから商品の値上げに動いたことが要因と推察される。

2年連続で10%以上の増収となった6位の(株)宮崎本店(三重県)では、飲食店需要回復や、主力銘柄である「キンミヤ焼酎」の家庭用紙パック製品が好調に推移するなど”家飲み”ニーズを確実に捉えたことなどが業績を押し上げている。さらに、海外市場の開拓や新商品の販売などに取り組んだことが、売り上げ増加の要因となった。

2024年はインバウンド需要が底堅く、外国人旅行客の一人当たり消費支出も好調さを維持しているものの、国内の個人消費は、コロナ禍明け後の需要回復一巡に加え、実質賃金の減少継続により低迷が続いている。また、原油や原材料価格の高止まりが続いており、依然として焼酎業界は厳しい状況に立たされていることに変わりはない。

しかし、近年はフルーツの香りを加えた焼酎やアルコール度を下げた、飲みやすさにこだわった商品が若者や女性に一定の評価を受けており、各社とも企画、販売を開始している。業界全体で新しいニーズを創出し、それらを取り込む販売戦略を打ち立てていくことが焼酎ブーム再燃へのきっかけとなるだろう。

### 【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当：秋山進

TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

### 2023年 焼酎メーカー売上高ランキング 上位50社

(売上高は推定を含む)

順位	前年 順位	商号	所在地	主力ブランド※(※は甲類)	主な原料	創業	設立	決算 月	売上高 (百万円)	前年比
1	1	霧島酒造(株)	宮崎県都城市	黒霧島、白霧島、赤霧島、茜霧島	芋、麦	1916年	2014年3月	3	59,383	1.6%
2	2	三和酒類(株)	大分県宇佐市	いいち、西の星	麦		1958年9月	7	26,035	4.0%
3	5	二階堂酒造(有)	大分県日出町	大分むぎ焼酎二階堂、吉四六	麦	1866年	1964年12月	6	15,100	11.9%
4	4	瀧田酒造(株)	鹿児島県いちき串木野市	海童、だいやめ、隠し蔵	芋、麦	1868年	1951年7月	6	14,418	3.8%
5	3	雲海酒造(株)	宮崎市	木挽BLUE、日向木挽、雲海、いいとち	芋、ソバ、麦		1967年11月	9	14,031	▲1.6%
6	8	(株)宮崎本店	三重県四日市市	※キンミヤ焼酎	麦	1846年	1951年3月	9	8,262	13.8%
7	6	薩摩酒造(株)	鹿児島県枕崎市	さつま白波、黒白波、神の河	芋、麦		1936年6月	6	7,750	0.6%
8	7	若松酒造(株)	鹿児島県いちき串木野市	薩摩一、薩州麦、わか松	芋、麦	1719年	1953年9月	6	7,495	3.1%
9	9	本坊酒造(株)	鹿児島市	桜島、あらかざ	芋、サトウキビ	1872年	1955年10月	6	6,541	0.2%
10	10	高橋酒造(株)	熊本県人吉市	白岳、白岳しろ	米	1900年	2001年11月	9	5,499	▲7.2%
11	11	美峰酒類(株)	群馬県高崎市	※司、上州むぎ焼酎	麦	1941年	2007年10月	9	4,206	▲4.0%
12	12	大口酒造(株)	鹿児島県伊佐市	伊佐錦、黒伊佐錦	芋		1970年8月	3	3,930	▲2.2%
13	13	神楽酒造(株)	宮崎県高千穂町	ひむかのくろうま、天孫降臨、天照	麦、ソバ、芋		1954年11月	9	3,158	2.5%
14	16	長島研醸(有)	鹿児島県長島町	さつま島美人	芋		1967年2月	9	2,958	24.7%
15	15	岩川醸造(株)	鹿児島県曾於市	おやっさあ、ハイカラさんの焼酎	芋、麦	1870年	1922年11月	3	2,550	4.5%
16	19	新平酒造(株)	鹿児島県大崎町	大金の露、金計佐	麦、芋	1904年	1988年6月	6	2,521	16.7%
17	17	(株)都城酒造	宮崎県都城市	あなただとめぼり、みやこんじょ	芋、麦		1956年2月	8	2,276	▲1.3%
18	21	宗政酒造(株)	佐賀県有田町	のんご、黒泉山	麦、芋		1985年5月	8	2,258	12.6%
19	18	三岳酒造(株)	鹿児島県屋久島町	三岳	芋		1949年11月	9	2,170	▲4.4%
20	20	札幌酒造工業(株)	札幌市	※サッポロソフト、喜多里	芋		1933年10月	9	2,150	1.0%
21	23	町田酒造(株)	鹿児島県龍郷町	里の曙	サトウキビ		1983年10月	3	1,964	2.7%
22	24	(株)奄美大島開運酒造	鹿児島県奄美市	れんど、紅さんご	サトウキビ	1954年	1998年2月	9	1,879	1.2%
23	25	老松酒造(株)	大分県日田市	閨麗、麴屋伝兵衛	麦	1789年	1973年12月	3	1,846	4.5%
24	22	福井酒造(株)	愛知県豊橋市	※自遊自在、千年浪漫	サトウキビ、酒粕	1912年	1948年10月	9	1,701	▲14.4%

※1 三和酒類(株)は、2022年7月期から収益認識に関する会計基準を適用した結果、酒税や販促費を控除した金額を売上高に計上する会計処理を行った。

## 2023年 焼酎メーカー売上高ランキング 上位50社

順位	前年 順位	商号	所在地	主ブランド(※は甲類)	主な原料	創業	設立	決算 月	売上高 (百万円)	前年比
25	30	まさひろ酒造(株)	沖縄県糸満市	まさひろ、島唄	米	1883年	1965年8月	8	1,700	33.9%
26	26	田苑酒造(株)	鹿児島県薩摩川内市	田苑	麦、芋	1890年	1976年6月	6	1,697	▲3.0%
27	29	八鹿酒造(株)	大分県九重町	銀座のすずめ、なしか!	麦	1864年	1949年11月	9	1,638	6.1%
28	27	(株)久米島の久米仙	沖縄県久米島町	久米島の久米仙	米	1949年	1993年7月	12	1,630	▲5.9%
29	33	(有)比嘉酒造	沖縄県読谷村	残波	米	1948年	1985年8月	2	1,500	15.4%
30	37	萬世酒造(株)	鹿児島県南さつま市	薩摩萬世、蔵多山	芋	1899年	1985年11月	6	1,487	26.0%
31	36	玄海酒造(株)	長崎県杵岐市	むぎ焼酎杵岐、一支園いき	麦	1900年	1985年2月	4	1,419	19.0%
32	28	ヤエガキ酒造(株)	兵庫県姫路市	※甲(カブト)、あらき	米、麦	1666年	1962年12月	9	1,415	▲10.6%
33	35	佐藤酒造(有)	鹿児島県霧島市	佐藤、さつま	芋、麦	1906年	1952年4月	5	1,200	0.0%
33	33	(株)奄美大島にしかわ酒造	鹿児島県徳之島町	島のナホレオン	サトウキビ		1980年4月	9	1,200	0.0%
35	32	小鹿酒造(株)	鹿児島県鹿屋市	小鹿	芋、麦		1971年8月	7	1,181	▲10.1%
36	31	白玉醸造(株)	鹿児島県錦江町	魔王、白玉の露	芋	1904年	1953年2月	3	1,100	0.0%
37	38	千寿酒造(株)	静岡県磐田市	千寿、稲泉	米	1902年	1983年11月	9	1,019	1.0%
38	40	さつま無双(株)	鹿児島市	さつま無双、くろはち	芋、麦		1970年10月	6	778	0.4%
39	41	大海酒造(株)	鹿児島県鹿屋市	さつま大海	芋		1975年6月	6	750	0.0%
40	42	大隅酒造(株)	鹿児島県曾於市	大隅	芋、麦		2005年9月	12	700	0.0%
41	-	井上酒造(株)	宮崎県日南市	鉄肥杉	芋、麦、テーツ	1894年	1976年10月	6	661	27.6%
42	43	(株)霧島町蒸留所	鹿児島県霧島市	明るい農村	芋		1977年11月	9	660	▲1.0%
43	44	香岐の蔵酒造(株)	長崎県杵岐市	香岐っ娘、香岐の島	麦		1984年5月	9	614	3.4%
44	45	高千穂酒造(株)	宮崎県高千穂町	高千穂、わかむぎ	麦、米、ソバ	1902年	1976年2月	3	585	1.7%
45	50	国分酒造(株)	鹿児島県霧島市	さつま国分、フタミノオレンジ、いも麴芋	芋		1970年7月	9	579	11.6%
46	47	若潮酒造(株)	鹿児島県志布志市	さつま白若潮、さつま黒若潮	芋、米		1968年8月	7	560	0.0%
47	-	(有)森伊蔵酒造	鹿児島県垂水市	森伊蔵	芋	1885年	1986年1月	6	550	25.0%
48	46	(株)恒松酒造本店	熊本県多良木町	米一石、墮天使	芋、米、麦	1917年	2001年12月	3	549	15.8%
49	-	櫻の郷酒造(株)	宮崎県日南市	無月、櫻泉、花立の里	芋、麦	1894年	1962年7月	6	546	9.2%
50	48	新里酒造(株)	沖縄県うるま市	かりゆし、古酒琉球GOLD	米	1846年	1950年10月	6	529	▲1.9%
参考 51	49	喜界島酒造(株)	鹿児島県喜界町	喜界島、キヤブテンキッド	米、黒糖		1967年5月	9	520	0.0%